

基本目標3 一人ひとりに寄り添い『未来』へつなげるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	内容	令和2年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	担当部署
1 一人ひとりに寄り添う相談体制をつくる	1 福祉総合相談窓口(総合案内)の設置	福祉に関する困り事を中心に、さまざまな悩みや相談を聴き、適切な相談先へつなぐ福祉総合相談窓口(総合案内)の設置を検討します。	①市民の複合化・複雑化している課題やニーズに対し、子ども・高齢者・障害者などすべての人が地域、暮らし、生きがいとともに創り高め合うことができる地域共生社会の実現に向けた総合相談窓口の構築を今後、協議していく。 ②今年度、協議を実施しなかった。	△計画より遅れている	①今後、教育委員会を含む庁内で協議が必要。 ②まず、協議する部署を選定することから実施し、重層的支援整備事業への移行を含めて検討していく必要がある。	維持	①健康支援課 ②社会福祉課
	2 民生委員・児童委員活動への支援	「民生委員児童委員協議会」の活動に関する経費について、補助金を交付します。また、民生委員・児童委員活動に必要な情報を提供し、活動を支援します。	⑫民生委員児童委員協議会補助金を交付し、民生委員児童委員協議会活動の支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策ふれあいランチサービス臨時交付金を交付し、民生委員等が行う既存のふれあいランチサービス事業の遂行ができるように支援を行った。 ふれあいランチサービス 5,603食 (内 臨時交付金分 2,332食 活動時の感染予防衛生用品配付 375名)	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫新型コロナウイルス感染症の拡大により、本来の民生委員活動が実施できなかったため、今後の活動方法について検討する必要がある。	維持	⑫社会福祉課
	3 包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント業務を行う「地域包括支援センター」を委託・運営するとともに、機能の強化を検討します。また、身近な所で相談を受け付けて地域包括支援センターへつなぐための窓口(ランチ)業務と高齢者福祉サービスの実施を、市内7か所の社会福祉法人(「在宅介護支援センター」)へ委託します。	⑪令和3年4月から設置の基幹型地域包括支援センターの準備を進めた。内房地区、外房地区に各1か所、地域包括支援センターを設置、また、ランチ機能として市内7か所に在宅介護支援センターを設置した。	◎計画より進んでいる	⑪今後、認知症施策や介護予防の推進が重要な課題となっている。	維持	⑪健康支援課
	4 教育相談の実施	不登校や家庭に問題のあるケース(虐待を含む)に対して学習サポートや相談業務を行い、家族も含めた支援を行います。	⑨教育相談件数 2,035件 (令和3年3月31日現在)	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨ケース増加に対応する体制づくり。	維持	⑨子ども教育課
2 困りごとを抱える人をみんなで支える	1 生活困窮者の自立に向けた支援	生活保護に至る前の生活困窮者への「住居確保給付金」の支給や就労支援等を行い、自立に向けた支援を図ります。	⑫新規相談受付件数 143件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫新型コロナウイルス感染症の流行により更なる支援が必要。	維持	⑫社会福祉課
	2 DV緊急避難の支援	配偶者からの暴力を受けた被害者とその家族に、緊急避難のための緊急一時保護、避難費を支給し、被害者の保護を図ります。	⑫緊急避難のための緊急一時保護 0件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫緊急避難先の確保。	維持	⑫社会福祉課
	3 「社会を明るくする運動」の実施	保護司や更生保護女性会と共に「社会を明るくする運動」を実施し、犯罪や非行の防止と犯罪をした人たちの更生、再犯防止を呼びかけます。	⑫市内小中学校に「社会を明るくする運動」作文コンテストの作品を募集し、小学校80作品、中学校114作品 計194作品の応募があった。 また、県作文コンテストに推薦した作品が小学校の部で千葉保護観察所長賞を受賞し、広報誌や房日新聞に記事を掲載することで「社会を明るくする運動」の周知を図った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫新型コロナウイルス感染症の流行により対面での啓発活動が実施できなかったため、それに代わる新たな啓発方法の検討が必要。	維持	⑫社会福祉課
	4 障害者虐待防止対策の実施	障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うため、「障害者虐待防止センター」へ委託し、地域の関係機関等の協力体制の整備や支援体制の強化を図ります。	⑫社会福祉法人三芳野会に「市虐待防止センター」を委託し支援体制の強化を図った。 通報件数 5件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫無	維持	⑫社会福祉課
	5 高齢者虐待防止対策の実施	高齢者虐待の早期発見と防止を図るため、「高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議」を開催します。	⑫新型コロナウイルス感染症感染防止のため「高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議」は未開催となった。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫今後も虐待の早期発見、早期対応する体制づくりが重要である。	維持	⑫健康支援課

	6 児童虐待防止対策の実施	児童虐待の早期発見・早期対応、虐待が疑われる児童の見守りを、「教育相談センター」と各小中学校・子ども園等や児童相談所・警察等関係機関が連携して行います。また、児童虐待防止については、子育て世代包括支援センターや教育相談センター等が連携しながら進めます。	⑨関係者協議・会議 1,319回 所属訪問 149回 関係機関と随時、連絡、連携をはかりながら行っている。 ⑩子育ての始まりとなる妊娠届出時に、保健師が全数面接し妊娠出産育児についての課題のアセスメントと見通しの提案を行っている。また、令和3年1月、子育て世代包括支援センターを開設し、福祉・教育・医療と連携をしながら児童虐待防止に向けた養育課題の共有や支援連携を推進していく。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨ケース増加に対応する体制づくり。 ⑩精神発達課題を積み残したまま親となったり、家庭内での課題の解決力が低い家庭がある。児童虐待防止のため、教育部門と連携した対策を要する。	⑨維持 ⑩拡充	⑨子ども教育課 ⑩健康支援課
	7 成年後見制度の利用促進	南房総市・館山市・鴨川市および鋸南町の3市1町で設置している「安房地域権利擁護推進センター」（中核機関）において、必要な人に成年後見制度の利用に向けた適切な支援を行います。	⑩安房3市1町で設置した安房権利擁護推進センターと連携し、相談支援、普及啓発、後見人候補者等の支援・マッチング、市民後見人の育成を推進した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑩継続して市民後見人の育成が課題である。	維持	⑩健康支援課
3 地域で生活するための環境を整える	1 障害者グループホーム・知的障害者生活ホームに関する助成	グループホーム・生活ホームの運営者に対し、事業に要する費用の一部を助成します。また、入居者に、家賃を助成します。	⑫小規模グループホーム、生活ホームの運営者に運営費補助金を助成。入居者に家賃補助金を助成した。 【小規模グループホーム】 運営費補助金 24事業所 家賃補助金 67名 【生活ホーム】 運営費補助金 2事業所 家賃補助金 3名	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫無	維持	⑫社会福祉課
	2 「母子家庭等自立支援教育訓練給付金」の支給	母子家庭の母、父子家庭の父の自立を促すため、就業を目的とした教育訓練に関する講座を受講し、修了した場合に、受講費の一部を支給します。	⑫母子家庭自立支援教育訓練給付金 受給者 1名 対象講座：実務者養成研修講座	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑫無	維持	⑫社会福祉課
	3 シルバー人材センター運営への助成	「南房総市シルバー人材センター」の健全な運営と高齢者等の雇用の安定を図るため、補助金を交付します。	⑬高齢者の臨時的かつ短期的就業の機会を確保するため、南房総市シルバー人材センターへ運営費補助金を交付した。 年度未会員数 186名	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬会員数の維持や、新たな雇用の場の開拓が必要。	維持	⑬健康支援課
	4 就労・スキルアップ支援事業の充実	市内事業者の社員の専門資格取得、技術向上のための研修受講の支援や市民が就労するための資格や技術を取得することへの支援等を行います。	⑭中小企業人材育成事業補助金 17社 40名	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑭活用する事業者が限られてきているので一層の周知が必要。	維持	⑭商工課
	5 新規就農者への支援	就農へ向けた準備段階となる技術、知識などの研修と就農直後の経営の安定化や農地確保等を支援し、新たな就農者を確保・育成します。	⑮【市単独補助事業】就農研修支援事業 農業経営体育成セミナー4名 先進農家等研修1名 研修生受入支援事業2名 経営自立安定支援事業3名 【国庫補助事業】 農業次世代人材投資資金 元年度からの継続2名・夫婦型1組	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑮研修生を受け入れる農家体制の整備促進を行う。また、総合相談により補助事業や農地紹介等の支援体制を引き続きPRしていく。	維持	⑮農林水産課
	6 漁業後継者の育成	漁業従事者の減少・高齢化が進むなかで、漁業が持続的に発展していくよう、意欲ある新規漁業就業者を確保し後継者を育成します。	⑯5人 (定置網漁2人、さば・さんま漁1人、刺網漁1人、採貝漁1人) ※令和元年11月～令和2年10月実績	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑯減少ペースに新規就業者人数が追いついていない。今後も継続して取り組んでいく。	維持	⑯農林水産課
	7 空き家バンク事業の充実	市内の空き家の所有者と利用希望者とを適切に結びつけ、空き家利用促進のため改修費用を助成します。また、「南房総市空き家バンク協議会」と協働で専門的支援を行います。	⑰空き家利用促進奨励補助金 1件 南房総市空き家バンク協議会と連携して、物件相談も含めて移住・定住支援を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑰コロナ禍において、物件に対する問合せが増加しており、それに対応する物件が不足している状況にある。	維持	⑰企画財政課 ※R3より ⑰建設課
	8 住宅取得奨励金の交付	若者世代支援・地元業者育成、定住促進と地域経済の活性化を図るため、一定要件を満たす新築住宅取得者に対し、奨励金を交付します。	⑰認定受付 32件 今年度事業費見込み 3,100万円	☆目標達成（事業完了）	⑰移住定住対策は、他部署との連携が必要不可欠である。今後も効果的にPRできる連携強化に努める。	維持	⑰建設課